

MOTIF XS Editor VST & Yamaha Steinberg FW Driverセットアップガイド

□MOTIF XS Editor VST とは？

「MOTIF XS Editor VST」は VST3 テクノロジーに対応した Cubase シリーズ 4.5.2 以降で利用可能なエディターソフトウェアです。VST インストゥルメントと同様に VST インストゥルメントラックから MOTIF XS Editor VST を起動することができ、コンピューター上からボイス、マルチエディットを行うことも可能です。

なお、このセットアップガイドでは、Yamaha Steinberg FW Driver にて MOTIF XS とコンピューターを IEEE1394 接続し、MOTIF XS と Cubase 間での MIDI/オーディオデータの送受信を FireWire ケーブル 1 本で行う場合の設定をご案内いたします。

※MOTIF XS6/7 については、別売 mLAN エクスパンションボード「mLAN16E2」を取り付けた場合に IEEE1394 接続が可能になります。取り付け方については、MOTIF XS 取扱説明書「mLAN16E2の取り付け」(294 ページ)をご覧ください。

1.MOTIF XS 本体ファームウェアを最新版にアップデートする

MOTIF XS 本体ファームウェアを最新版にアップデートします。下記 URL から MOTIF XS アップデータをダウンロードし、アップデート作業を行ってください。

http://www.yamahasynt.com/jp/downloads/drivers_software/synthesizers/motif_xs/updater/

※アップデート作業の具体的な手順は、ダウンロードしたアップデート同梱のドキュメント(v***Readme_j.txt)をご参照下さい。

※mLAN16E2 を Yamaha Steinberg FW Driver でお使いいただくためには、MOTIF XS ファームウェア「V1.10」以降が必要です。

2.ソフトウェアをインストールする

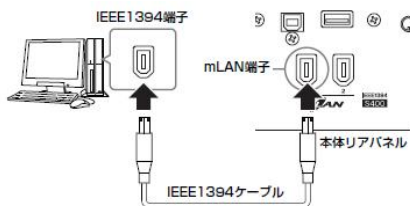
Yamaha Steinberg FW Driver をインストールします。下記 URL からお使いのコンピューター OS に合ったバージョンの Yamaha Steinberg FW Driver をダウンロードし、コンピューターへインストールしてください。

http://www.yamahasynt.com/jp/downloads/drivers_software/synthesizers/motif_xs/driver/

※詳しいインストール方法は、ダウンロードしたドライバー同梱のインストールガイド(InstallationGuide_ja.pdf)をご参照下さい。

※Yamaha Steinberg FW Driver は、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。詳細および最新情報については、上記 URL をご確認ください。

※手順の中の、PA 機器/電子楽器の mLAN 端子を IEEE1394 ケーブルで接続する箇所については、下図を参考にしてください。



3.IEEE1394 ファームウェアを最新版にアップデートする

IEEE1394 本体ファームウェアを最新版にアップデートします。下記 URL から IEEE1394 アップデータをダウンロードし、アップデート作業を行ってください。

http://www.yamahasynt.com/jp/downloads/drivers_software/synthesizers/motif_xs/updater/

※アップデート作業の具体的な手順は、ダウンロードしたアップデート同梱のドキュメント(update_guide_winn/mac_ja.pdf)をご参照下さい。

※mLAN16E2 を Yamaha Steinberg FW Driver でお使いいただくためには、IEEE1394 ファームウェア「V1.07」以降が必要です。

4.MOTIF XS 本体設定を変更する

下記手順にて、MOTIF XS 本体設定を変更します。

■IEEE1394 ドライバー設定

1.[UTILITY] > [F1]:General > [SF4]:AutoLoad ボタンの順に押します。

2.画面内「IEEE1394 Driver」項目を「FW」に設定します。

3.[STORE]ボタンを押し、設定を本体メモリーに保存します。

4.MOTIF XS の電源を入れ直します。

※本体を再起動する事で、「IEEE1394 Driver」が「FW」に切り替わります。必ず再起動を行ってください。

■MIDI 入出力設定

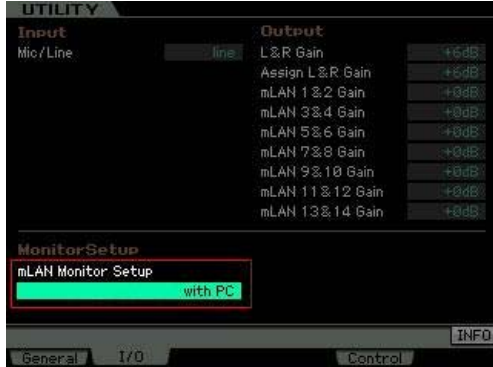
1.[UTILITY] > [F5]:Control > [SF2]:MIDI ボタンの順に押し、「Interface」欄の「MIDI In/Out」項目を「mLAN」に設定します。



2.[STORE]ボタンを押し、ユーティリティストア（設定の保存）を実行します。

■mLAN モニター設定

- 1.[UTILITY] > [F2]: I/O ボタンを押し、「mLAN Monitor Setup」項目を設定します。
- 2.MOTIF XS のハードウェアダイレクトモニタリングを行う場合には「with PC (DirectMonitor)」, DAW のソフトウェアモニタリングを行う場合には「with PC」に設定します。通常は、「with PC」に設定してください。



- 3.[STORE]ボタンを押し、ユーティリティストア（設定の保存）を実行します。

5.ソフトウェアをインストールする

MOTIF XS Editor VST 及び MOTIF XS Extension をインストールします。下記 URL から MOTIF XS Editor VST 及び MOTIF XS Extension をダウンロードし、コンピューターへインストールしてください。

■MOTIF XS Editor VST

http://www.yamahasyth.com/jp/downloads/drivers_software/synthesizers/motif_xs/editor/

■MOTIF XS Extension

http://www.yamahasyth.com/jp/downloads/drivers_software/synthesizers/motif_xs/extensions/

※詳しいインストール方法は、ダウンロードしたドライバー同梱のインストールガイド (InstallationGuide_ja.pdf) をご参照下さい。

※MOTIF XS Editor VST 及び MOTIF XS Extension は、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。詳細および最新情報については、上記 URL をご確認ください。

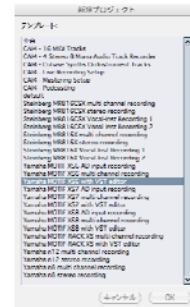
6.IEEE1394 接続確認について

MOTIF XS をコンピューターに IEEE1394 接続後、「Yamaha Steinberg FW Driver コントロールパネル」を起動します。コントロールパネル内に「MOTIF XS*」タブが表示されているかご確認ください。

※Macintosh: Macintosh HD > アプリケーション > Yamaha > FWDriver > Yamaha Steinberg FW Control Panel.app からコントロールパネルを起動します。
 ※Windows: スタートメニュー > コントロールパネル > Yamaha Steinberg FW Driver からコントロールパネルを起動します。

7.MOTIF XS Editor VST の利用方法について

■Yamaha MOTIF XS Extension をインストールすることで、Cubase 用プロジェクトテンプレート「Yamaha MOTIF XS with VST editor」を利用することが可能です。



「Yamaha MOTIF XS with VST editor」は、テンプレートの読みこみ時、MOTIF XS Editor VST が追加された状態で MIDI トラックが 16 個作成されています。MOTIF XS Editor VST のデータ同期を行った後に、データを作成してください。



※エディター上部の「OFFLINE」をクリックし、続いて「Auto Sync」ウインドウ下部の「Start」ボタンをクリックすることで、MOTIF XS 本体側マルチ設定と MOTIF XS Editor VST 上の設定が連動する状態「ONLINE」になります。

■MOTIF XS Editor VST のデータ同期が上手くいかない場合

下記手順にて、MOTIF XS とコンピューターを IEEE1394 接続した場合の MOTIF XS Editor VST 上の設定をご確認ください。

- 1.「ファイル」メニューから「エディタ設定」をクリックします。
- 2.「Setup」ウインドウ内の各項目を確認し、「OK」ボタンをクリックします。
 - Data Port = 「mLAN/1394」
 - mLAN Device = 「MOTIF XS*」
 - MIDI Out = 「MOTIF XS* Main」
- 3.「ファイル」メニューから「VSTi 設定」をクリックします。
- 4.「VSTi Setup」ウインドウ内の「Auto」ボタンをクリックし、オーディオポートを自動割り当てします。
- 5.「OK」ボタンをクリックします。